

自主臨床研究

血液腫瘍・免疫グループ

小児Ph+ALLに対するチロシンキナーゼ阻害剤併用化学療法の 第Ⅱ相臨床試験（ALL-Ph18）

研究の対象

1歳以上19歳以下の初発Ph+ALL

研究目的・方法

1歳以上19歳以下の初発Ph+ALLに対して、ダサチニブ併用化学療法の有効性と安全性を検証する。治療骨格をなす抗がん剤を減量または削減した上で、第1選択のチロシンキナーゼ阻害薬（TKI）として第2世代TKIのダサチニブの採用、およびIg/TCR-MRD、キメラMRDを用いた移植適応の適正化によって従来の治療と同等の成績、かつ第1寛解期の移植回避率の向上を目指す。また、BCR-ABL1キメラ遺伝子変異、IKZF1遺伝子欠失と治療効果との関連を評価するほか、Ph+ALL細胞のゲノム解析、エピゲノム解析、トランスクリプトーム解析により分子レベルの予後因子を探索する。

プライバシーの保護

登録患者の氏名は参加施設からデータセンター等に知らされることはない。

お問い合わせ先

大阪大学病院小児科
宮村能子